

可能性への挑戦

〜舞の海が語る大相撲の裏話〜

元小結NHK大相撲解説者

舞の海 秀平氏

名古屋市内法人会合同講演

日時／令和元年9月3日(火)

13時30分〜15時

会場／日本特殊陶業市民会館

フォレストホール





大相撲は日本の伝統文化

大相撲は古くからの日本の伝統文化・芸能、また神事でもあります。武士道精神的なものも取り入れ千年以上奇跡的に生き残ってきました。

最大のピンチは明治時代です。西洋文化が入ってくると、野蛮な裸踊りと見られるようになり、人前で裸になったと相撲をとって逮捕された力士もいました。これで相撲は終わりだと思っていたら、明治天皇が天覧相撲を開き、また日本の伝統や文化を見直そうとする人々も現れて新聞の論調も変わってきました。明治になり、ちょんまげを結う人がいなくなりましたが、相撲界ではちょんまげを残しました。これは歴史上もっとも大切な判断だったと思います。舞妓さんも歌舞伎役者も被りものですが、お相撲さんは自分の髪で結っています。

相撲界は古い世界と思われがちですが、新しいものを取り入れるのは早いです。大相撲は昭和44年にはビデオ判定を導入しました。当時、横綱大鵬は45連勝中で、このままいくと双葉山の69連勝を破るかも知れず、一番一番が大切な勝負です。そういうとき「勝った！」と思った一番が負けになりました。翌日の新聞に大きく写真が載っていて、誰が見ても大鵬が勝っていたのです。歴史に残る誤審です。こんなことを続けていては、大相撲は見放されると、2カ月後の次の場所からビデオ判定を導入しました。

一度しかない人生、やりたいことに挑戦

大学卒業後は、山形県の高校の教師になることが決まっていた。

卒業2カ月前に大学相撲部の後輩が突然亡くなって、部員全員で葬式の手伝いに行きました。「人間は常に死と隣り合わせ。一度しかない人生、いま本当にやりたいことに挑戦しよう。それは大相撲だ。」と思ったのです。その気持ちを大学の相撲部の監督に打ち明けました。監督は「お前の気持ちはわかった。ところで身長はどれだけだ?」。168.5センチです。173センチないと新弟子検査に合格しません。1~2センチはごまかせるが、相撲協会の偉い親方でないと裏で根回しして入れてくれないと、紹介されたのが出羽海部屋で、出羽海親方(元横綱佐田の山)でした。

しかし新弟子検査はなんと不合格。佐田の山の親方のところに報告に行ったら「落ちたか!」と笑っています。頭にきて、誰にも言わず勝手に東京に戻りました。次の新弟子検査は2カ月後。相談に行った美容外科で頭にシリコンを入れてみませんかと言われ、簡単な説明でしたから気楽に考えていました。新弟子検査の1カ月前に手術。頭蓋骨と頭の皮膚の間に袋を入れ、1カ月かけて、この袋に注射器で生理食塩水を入れるそうです。手術後の夕方から激痛でした。めまい、脂汗、吐き気。抜け毛。3日間ほとんど眠れず。食塩水が入って顔の皮膚が上に引っ張られた感じでしたが、検査の前日になってもまだ1センチ足りない。新弟子検査日の朝、なかなか食塩水が注入できず、ドクターが麻酔を追加して、やっと最後の水を注入することに成功して、新弟子検査に臨みます。二度目の新弟子検査で合格、日本相撲協会の力士となることができました。

正式に出羽海部屋に入りましたが、納得できないのは師匠がどうして根回ししてくれなかったのか、です。師匠は「お前は这个世界でやっていくにはあまりにも小さ過ぎる。余計な苦勞するよりも、就職したほうがお前のためになる





と思った。シリコンを入れて戻ってきてビックリした。そんな奴は初めてだ」。本当にその体格でやる気があるなら、一度検査を落ちても必ず戻ってくると、覚悟を試されたのだとわかりました。

土俵に息づく武士道精神

師匠からは「勝っても威張るな。奢るな。負けてもひがむな。自分の努力が足りないだけ。自分を倒した相手に拍手を送るような気持ちがないと強くなれないぞ。勝った力士は相手を敬う感謝の気持ち、負けた力士はもう一度鍛え直してきますという気持ちになってしっかり礼をなさい」と教えられました。

これは明治時代、出羽海部屋の大先輩である横綱常陸山が、大相撲が野蛮な裸踊りと見られていたので、自分が学んだ武士道精神を力士たちに教え込んで誇りをもたせ、様式美を完成させたのです。そういう教えが、いまに引き継がれ土俵上に息づいています。

私の師匠の佐田の山の親方は厳しいなかにも寛容でユーモアのある人でした。私の新十両の初日、タクシーで場所に向かう途中、高速道路が渋滞に巻き込まれて動きません。タクシーを降り羽織り袴で高速道路を走り、次の降り口でタクシーをつかまえて大阪難波の府立体育館に到着したら、土俵入りが終わっていました。土俵には間に合って勝ちましたが、嬉しくありません。大変なことをした。師匠は責任をとって降格・減給、私は解雇を言い渡されると覚悟を決めていたところ、師匠は「土俵入りに遅刻したから緊張しないで相撲をとれて勝てた。今日も遅刻してみろ」(笑)。





救われました。

お金に困ったこともあります。意を決して師匠のところへ借りに行きました。給料が入ってすぐに借りたお金を返しに行ったら、「なんのことだ。お前に貸した覚えはない。相撲を頑張れ」。なんと粹な親方。師匠のためにも、部屋の名誉のためにも、もっと努力して恩返ししたいと士気が高まります。人の心を動かす、生きたお金を使うのはこういうことだと考えさせられました。

普通の親方は「お前たちは稽古が足りない。もっと稽古をしろ」と話をするものですが、うちの師匠は一切しません。「お前たち、辛い？ 学者は頭を痛めて努力している。サラリーマンは心を痛めて努力している。お前たちは力士だ。体を痛めて努力しなさい」。甘えていられない。明日から心を入れ替えて稽古に励もうと思いました。いろいろな話をして私たちを育ててくれました。

肝心の相撲のとり方は何も教えてくれません。それどころか入門してすぐに「お前、好きにやっていいぞ」「向かっていかず、飛んだり撥ねたりしてもいいですか?」「お前だけは許す」。現役時代、どんな負け方、勝ち方をしても一度も叱られたことはありません。

工夫次第で戦える!!

地方巡業で曙関と稽古をしたとき、毎回一突きで土俵下にひっくり返されました。ものすごい力です。しかしひとつ気が付きました。私と相撲をとるときだけ必ず、仕切り線に手をつくと同時に両手で私の肩を一突きするので吹っ

飛んでいました。私は考えました。曙関は強いけれど体重のわりに足が細長い。弱点になるかも知れない。両手が肩に当たる直前、真下から攻めたらどうか。その手は、いつか本場所で当たったときのために取っておきました。幕内に昇格して2場所目の九州場所、11日目に曙関と対戦です。

立ち合い、曙関が向かってきました。有り難いことに予想通り両手を伸ばしてきたので、しゃがむと曙関は空振りし、私は相手の腰にピタッ。いつも一突きで飛んでいく私が目の前から消えて腰にくっついている。慌てて肩越しに私を吊って土俵の外に出してしまおうとします。私は左足で内掛けの作戦に出ますが、思った以上に曙関の足が長くて内掛けが効かない。曙関のもう1本の足を右手で取りに行くが、まだ倒れない。頭で曙関の腹を押した。同時に3カ所押ししているということで「三所（みどころ）攻め」という決まり手で勝ちました。

振り返ってみると、「なぜ173cm無いと相撲が取れないのか。身長が足りなくても工夫次第で戦えるかも知れない。こうなったら何としても、それを証明したい」というのが素直な気持ちでした。最後にたどり着いたのが美容外科でのシリコンだったのです。

最後になりますが「悩む人は体を壊す」と知り合いの医者に言われました。皆様も、真面目は程々にして、いい加減を大切に、笑って、いつまでもご活躍ください。

※この記事は令和元年9月3日(火)の講演の要約です。

文責／公益社団法人 名古屋中法人会

名古屋市内在法人会合同講演のお知らせ

激動する国際情勢と今後の日本の対応

～最大の課題は中国問題～

日時／令和2年(2020)2月13日(木) 13:30～15:00

会場／日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

外交政策研究所代表 宮家 邦彦 氏

昭和28年(1953) 神奈川県生まれ。
昭和53年(1978) 東京大学法学部卒業。同年外務省入省。
昭和61年(1986) 外務大臣秘書官、平成10年(1998) 日米安全保障条約課長。
平成17年(2005) 退官、外交政策研究所代表に就任。
平成21年(2009) 一般財団法人キャノングローバル戦略研究所研究主幹。



景気、年後半に後退 米中貿易摩擦の先行き懸念

日時/令和元年7月17日(水) 10:00~12:00 会場/名古屋東急ホテル3F ヴェルサイユ「ルネッサンス」
主催/日本経済新聞社、(公社)日本経済研究センター 後援/(公社)名古屋中法人会 他



司会
日本経済新聞社
編集局次長兼経済部長
藤井 一明氏



IT投資、高水準
省力化投資に期待
(株)ジェイテクト
取締役社長
安形 哲夫氏



米中対立が左右
米国向け車輸出好調
日本銀行
名古屋支店長
清水 季子氏



在庫の調整進む
労働市場改革の遅れ
第一生命経済研究所
首席エコノミスト
永濱 利廣氏



少子化対策急げ
民需の強さ欠く
日本経済研究所センター
研究顧問
斎藤 潤氏

税務研修会

消費税軽減税率等研修会

日時／9月4日(水)・6日(金) 13:30~15:00 会場／昭和ビル9F ホール
講師／名古屋中税務署 法人課税第一部門統括国税調査官 加藤 辰男氏 名古屋中税務署 審理専門官 伊藤 佳典氏



名古屋中税務署
法人課税第一部門統括国税調査官
加藤 辰男氏



名古屋中税務署
審理専門官
伊藤 佳典氏



令和元年度税制改正実務研修会

日時／6月17日(月) 13:30~16:30 会場／昭和ビル9F ホール
講師／税理士法人 名南経営 理事長 税理士 安藤 教嗣氏 税理士法人 名南経営 税理士 佐野 公彦氏



税理士法人 名南経営
理事長 税理士
安藤 教嗣氏



税理士法人 名南経営
税理士
佐野 公彦氏



テキスト



第25回やさしい法人税セミナー

日時／9月3日・10日・18日・25日・10月2日・9日 6回で全科修了。各回13:30~16:15 会場／昭和ビル9F ホール
講師／税理士 小掠 めぐみ氏 元税務大学校名古屋研修所 主任教育官 元名古屋国税不服審判所 国税審判官 内容／法人税法等全般



税理士
小掠 めぐみ氏



テキスト 図解 法人税



第8回理事懇談会

新しい仲間を法人会へ

日時／令和元年8月6日(火) 16:00～ 会場／東京第一ホテル錦
議題／(1)会員増強運動推進について (2)福利厚生制度の推進について



会長あいさつ
岡谷 篤一氏



名古屋中税務署長
村田 知英子氏



名古屋中税務署
筆頭副署長
竹谷 英明氏



名古屋中税務署 法人課税第一部
統括国税調査官
加藤 辰男氏



新しい
入会案内パンフレット



情報交換会

名古屋中税務署 新署長・幹部職員あいさつ



親会役員

日時／令和元年7月17日(火) 13:30～



経営研究会役員

会場／名古屋中税務署会議室

正副会長会 前署長・退任役員送別会



日時／令和元年9月18日(火) 17:00～
会場／芳蘭亭

地域社会貢献事業

第11回名古屋ニコニコランド2019

日時／令和元年9月22日(日) 10:00~16:00 会場／久屋大通公園



開会式あいさつ
名古屋中法人会副会長
辻本 昌孝氏



開会宣言
青年部会部会長
大塚 真次郎氏



TAXO×クイズ大会「税金ハカセ」
名古屋中税務署 筆頭税務広報広聴官 中村 治氏

Let's Challenge! 未来へ輝け!



運営本部



スポーツ体験



サッカー教室

青年部会スタッフ一同 集合

